

株式会社フジマックとの「グリーンローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社フジマック（代表取締役社長：熊谷 光治、以下「フジマック」）との間で、グリーンローン（以下「本ローン」）に関する融資契約を締結しました。

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」（※1）に準拠し、環境問題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。

フジマックは、「グリーンローン原則」及び環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、2026年2月に「グリーンローン・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社日本格付研究所から第三者意見（※2）を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたグリーンローン調達です。

フジマックは、ESG経営を推進しており、環境面における具体的な取り組み目標として、2028年までにScope1+2のGHG排出量を2023年度比10%削減することを掲げております。このたび、子会社である株式会社フジマックネオ（代表取締役社長：豊武 孝太郎）の新工場設立にあたり、環境性能に優れた工場を建設し、省エネルギー設備を導入することを目的に本ローンによる調達を行いました。

なお、「グリーンローン・フレームワーク」の適格クライテリアについて、グリーンビルディングは、ZEB（nearly、ready、orientedを含む）認証またはBELS評価の非住宅レベル4以上と定めています。加えて、省エネルギーの設備はZEB認証（ZEB Oriented相当以上）と同水準のBEI（省エネルギー性能指標）を有する建築物の取得及び、従来品よりもエネルギー消費量が30%程度抑えられた高効率機器の導入・更新としています。

みずほ銀行は、フジマックの環境負荷低減に向けた取り組みをファイナンス面から支援すべく、フジマックが本フレームワークに基づき実施する適格グリーンプロジェクトのうち、BELS評価の非住宅レベル6認証を取得したグリーンビルディング及び省エネルギー設備を対象として、本ローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

【イメージ図】



(※1) : グリーンローン原則

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体Asia Pacific Loan Market Association が2018 年3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年12 月にはThe Loan Syndications and Trading Association も参画。

(※2) : 株式会社日本格付研究所による評価レポートをご参照下さい。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上